

I. 次の文を読んで質問に答えなさい。

スポーツが上達するためには何度も同じ練習を繰り返す必要がある。おしゃべりも基本的には同じで、体で覚えなければ上達しない。

会社で地位が上がったり有名になったりすると、人の前で話す機会が増え、スピーチが次第にうまくなっていく人が多いような気がする。スピーチが上達していくのは、①場数を踏む^{ばかず}_{注1}ことで、リラックスしたまま話せるようになるためでもあるが、それ以上に、ウケる、つまり人におもしろいと思ってもらうポイントが体で分かってくるためではないだろうか。

スピーチをする時に困るのは、自分がしゃべっている間、会場の人がつまらなそうにしていること。こうなるとさらに緊張してしまい、スピーチがうまいかなくなってしまう。②こんな時に、用意しておいたウケる話をすれば、会場の雰囲気が変わり、話を聞いてもらえる環境を作ることができる。

といっても、普通の人はスピーチや挨拶をする機会はそんなに多くないので、ウケるパターンを体で覚えることはできないという人もいるだろう。(A)、おしゃべりというのは、何もパーティー会場だけでするものではない。日常の会話の中でも、自分の話題がウケているかどうかを、相手の視点から判断するように意識することが重要だ。そして少しでもウケた話題があったら、③それを何回か使ってみて、上手に話せるようにしておく。そうすれば、スピーチに自信^{注2}が持てるようになる。④「継続は力なり」は、おしゃべりにも通じる真理なのである。

(注1) 場数を踏む: 数多く経験する

(注2) 自信: 自分の能力や価値が信じられること

(日本語総まとめ問題集 読解編 アスク社 p.123 よりリライト)

1. 「①場数を踏む^{ばかず}」とどうなりますか。a. ~ d. の中から一つ選びなさい。

- a. 会社で地位が上がったり有名になったりする
- b. 人の前で話す機会が多くなる
- c. スピーチが上達する
- d. スピーチが続けてできるようになる

2. 1) 「②こんな時」というのはどんなときのことですか。

2) 「③それを」は何を指していますか。

3. (A)には a. ~ d. のうち、どれが入るのが適当ですか。

- a. それで b. しかし c. したがって d. それなら

4. 最後に④「継続は力なり」は、おしゃべりにも通じる真理なのであります。どういう意味でしょうか。 a. ~ c. の中から一つ選びなさい。

- a. おしゃべりも、ほかのいろいろなことと同じように、繰り返して練習すれば上手になる
- b. 真実を知れば、おしゃべりが上手になる
- c. 本当のことを言い続けられれば、スピーチも力があるものになる

5. 文章の内容と合っているものには○、違うものには×をつけなさい。

- 1) 会社で地位が上がるとスピーチが上手になるのは、リラックスしたまま話せるようになることが主な理由である。()
- 2) スピーチをしているときに、うまくいっていないことに気がいたら、ウケる話を用意した方がいい。()
- 3) 人の前で話をする機会が少ない人の中には、スピーチが上達するほど、経験を積むことができないと思っている人もいる。()

6. 次の文は、上の本文を短くまとめたものです。_____に適切な言葉や表現を、本文から探して書いてください。二つの c. には同じ言葉が入ります。

おしゃべりもスポーツと同じで練習を a. 上手にならない。 b. 話す機会の多い人がスピーチが上達するのは、人に c. 話題が分かってくるからではないだろうか。聞いている人がつまらなそうにしている時には、 c. 話題を使って、話を聞いてもらえる環境を作ることでもある。そのためには、 d. の中で、自分の話がおもしろく聞いてもらえているかどうかを e. することが重要だ。また、その話題を f. おくことで、スピーチに自信が持てるようになる。

- a.
- b.
- c.
- d.
- e.
- f.

II. 次の質問のうち一つを選んで、日本語で書きなさい。

- 1)
 - a. イタリアの地形を簡単に説明してください。
 - b. 両親の家から離れた大学に通うイタリア人の学生は、独り暮らしをしていますか、あるいは寮に入っていますか。こうした学生の住まいについて説明してください。
 - c. 夏の暑さをしのぐため、イタリアではどんな工夫をしていますか。

2)

- a. 日本人の友だちができたけれど、友達言葉にしていいかどうかわからない時、あなたはしていますか。
- b. 何か緊急事態を経験したことがありますか。具体的にどんな経験をしたのか、書いてください。
- c. 快適に眠るために、していることがありますか。

Ⅲ. 次の会話を読んで最も適切な表現を下の a.~c. から選び、記号を[]内に入れなさい。

1. A: 先生、11 時にお約束をしているマリオですが。

B: ああ、マリオさん、どうしましたか。

A: 実は電車が止まってしまって 11 時には[]。

a.間に合うがありません	b.間に合いそうにないんですが	c.行きません
--------------	-----------------	---------

2. A: もしも今日の昼にそちらで食事をしたものなのですが。そちらにかさの[]。

B: どんなかさでしょうか。

a. 忘れ物はありませんでしょうか	b. 忘れてしまいました	c. 忘れたつもりだったんですが
-------------------	--------------	------------------

3. A: ニュースの時間です。今回発表された調査結果によると、大学生の85パーセントは週に3回以上アルバイトをしている[]。

B: 週に3回以上ですか。一体いつ勉強するんでしょうね。

a. のではないでしょうか	b. ということです	c. みたいです
---------------	------------	----------

Ⅳ. 【 】の中から言葉を選び、_____に入れて文を完成させなさい。言葉は一回しか使えません。

【 疑問 興味 現実 質問 現状 口調 関心 】

1. 次のレポートは川の汚染の_____を分析し対策を立てることである。

2. とても大切なお客さまなので、行動には十分注意するようにと厳しい_____で注意された。

3. 自分の心に浮んだ_____をそのまましておかず、書きとめておいてあとで解決するのはとてもいい習慣だ。

4. この実験の成功に対して、各国の_____は高く、実用化が期待されている。

V. 【 】の中から動詞を一つ選び、適当な形にして_____に書きなさい。動詞は一回しか使えません。
()にはひらがなを一つ入れなさい。

【 話しかける 交代する 手に入る 買い替える 投書する 】

1. 新聞に_____一般の人の意見の中()も、専門家の意見に負けないようないいものもある。
2. このバッグは使い勝手()いいので、毎日のように持って歩いていたが、とうとう壊れてしまったので、
_____なくてはならない。
3. ボランティア活動()参加したところ、何人かの年配の人が_____くれた。
4. 思い()寄らない偶然から、ずっと前から欲しいと思っていた珍しい本が_____。

VI. 【 】の中から最も適当な表現を一つ選びなさい。

1. そんな【 ために ふうに ように 】ナイフを持つと危ないですよ。
2. 彼女は体が弱く、大学を休み【 がち ばかり ほど 】だ。
3. 家族の写真を見るに【 とって しては つけて 】、最後まで頑張ろうと思う。
4. 富士山の頂上から見た朝日の美しさ【 なら といったら をもとに 】、忘れられない。
5. 長い間社長をしていた人【 だけあって といっても に応じて 】、スピーチがうまい。
6. 眠りが【 浅い 悪い 満足な 】人は、寝る前にストレッチなどをするといい。
7. 胸を【 すらすら どきどき くたくた 】させながら、試験の結果を待っていた。

VII. 文を完成させなさい。

1. インターネットの普及に伴い、_____。
2. 約束したからには、_____。

VIII. 1)～3)の _____に入るように□の中の漢字を組み合わせ、言葉を作りなさい。漢字の読み方を
〔 _____ 〕に書きなさい。

a. 負	b. 保	c. 害	d. 陰	e. 担	f. 被
------	------	------	------	------	------

1. _____の制度は自治体によって少しずつ違う。この市では、初診料さえ払えば、診察も薬も無料だ。
〔 _____ 〕
2. 今回の地震では、広い地方にわたって、大きな _____ が出た。〔 _____ 〕
3. 子供を日本に留学させるとすると、いくら奨学金があっても、両親の _____ は大きくなる。
〔 _____ 〕

IX. []の中から最も適切な言葉を選んで_____に入れ、読み方を[]に書きなさい。

1. 1) [a. 番組 b. 取材 c. 競争]

報道関係者の1) _____の仕方によって、読者に与える印象も変わってくる場合がある。

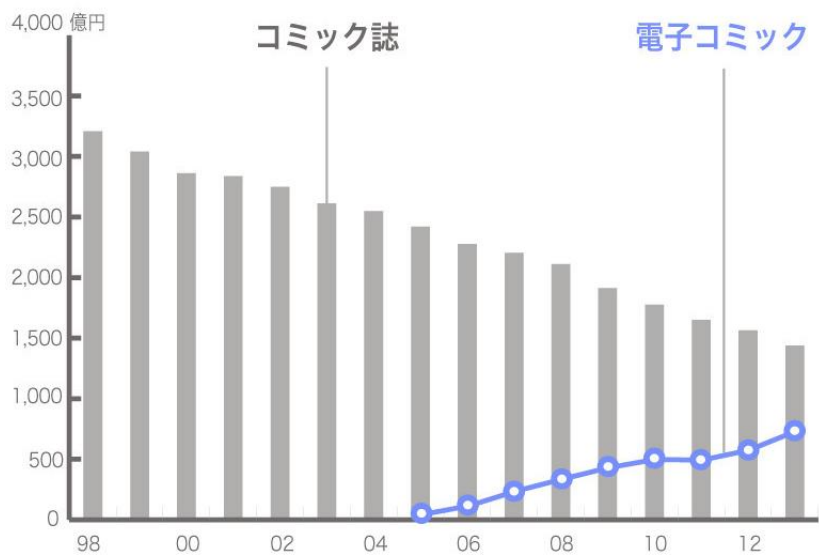
[]

2. 2) [a. 納得 b. 改善 c. 奇跡]

皆が2) _____がいく方法を見つけるのは不可能に近い。[]

+ α . 次のグラフからわかることを書きなさい。

コミック誌、電子コミックの売り上げ



(出典) 公益社団法人全国出版協会・出版科学研究所『出版指標年報 2014 年版』、
一般財団法人デジタルコンテンツ協会『デジタルコンテンツ白書 2014』。
